

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回小金井市公共下水道事業審議会	
事務局	環境部下水道課業務設備係	
開催日時	令和5年7月27日(木) 10:00~11:00	
開催場所	小金井市役所本町暫定庁舎本町暫定第1会議室	
出席者	委員	浦谷 規、楠元 克成、貞包 秀浩、南 恵子 齋藤 徹子、深澤 良彦、高木 和子
	その他	
	事務局	下水道課長 磯端 洋充、業務設備係長 井出 信綱、 工務維持係長 小林 君男、業務設備係主任 牛込 孝子、 業務設備係主事 田山 未来
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	0人	
傍聴不可等の理由等		
会議次第	別紙のとおり	
会議結果	別紙「審議経過」のとおり	
提出資料	別紙のとおり	
その他	なし	

1 令和4年度小金井市下水道事業会計決算について

下水道課長が資料1の令和4年度小金井市下水道事業会計決算書をもとに説明を行った。質疑応答における内容は以下の通り。

(楠元委員)

利益も1億4百万円以上出ており、なおかつ資金的にも年度末残高8億7千万以上とかなり潤沢にあるので、経営状態は問題ないと思うが、下水道事業を今後問題なく継続していくためには、ストックマネジメント計画に基づき、必要な投資にはお金をきちんと掛けていくことが肝要であると思う。

(貞包委員)

公営企業会計に移行してからの自己評価・感想はどうか。

(事務局)

令和2年度に公営企業会計に移行してから今年度で4年目になる。下水道の施設整備が今後の課題となっていくので、減価償却や、資産状況の把握、今後の収益の見通しなどが見える化し、官庁会計と比べて分析しやすくなったと考える。

2 小金井市下水道使用料減免基準の見直しについて

下水道課長が資料2—①から⑤をもとに説明を行い、行財政改革で下水道課が現在取り組んでいる下水道使用料減免基準の見直しについて意見を求めた。質疑応答における内容は以下の通り。

(貞包委員)

この案件は手続き的には市議会に諮るのか。

(事務局)

減免の対象の変更は下水道条例施行規則の改正になるので、議会の議決は必要ないが、これまでも減免の見直しは市議会でも質疑やご意見があったので審議会での検討結果として行政報告で報告する予定である。

(浦谷委員)

減免額の大まかな数字はあるのか。

(事務局)

令和4年度の減免総額は18,427,419円となっており、下水道料金を請求する時点で減免するものと、市独自のものの減免になる。内訳は請求する時点で減免されているものが17,172,556円で、市独自の減免が1,254,863円となっている。今回の減免の見直しは、1,254,863円の範囲の見直しとなる。

(貞包委員)

小金井市の適用範囲が広いのは、歴史的な経緯があるのか。

(事務局)

経緯としてはあるので、整理をさせていただき、次回ご報告させていただきたい。減免対象としては生活保護や、児童扶養手当などは、各市も行われていることであるが、125万円のところ、小金井市独自の65歳以上という部分は、他の自治体で中々規定されている所はない。昨今、定年の延長であるとか、年金支給額の引き上げがされており、65歳の規定が適切かどうかも含めて、現在、行財政改革で検討を続けてきたところである。

(貞包委員)

業種に触るということではないのか。

(事務局)

全般的に見直しを検討していきたいという事である。

(齋藤委員)

現状、小金井市の減免適用範囲が広いので、125万円を減らすことを目的としたものなのか、それとも増やすという事もあるのか。

(事務局)

市の独自の適用範囲が適切かどうかご意見を伺いたいという趣旨である。

(深澤委員)

適用範囲が広いというのは、他市に逆に誇っていいのではないか。行財政改革の公平性という話が出たが、他の自治体から小金井はここまでやっているのにといい声はないのか。やれる理由もあるのではないか。

(事務局)

議会の中でも行財政改革の議題の中で、色々な意見を頂いている。

(南委員)

資料2-④の各対象項目で、各市で×となっている内訳の数字が知りたい。

(事務局)

調査できる範囲で資料として対応したい。

(貞包委員)

上水道でも減免を行っているのか

(事務局)

上水道でも減免は行われており、資料2-④の都水道局の項で二重丸になっているものが減免対象である。

(貞包委員)

家庭で井戸水を汲み上げて使用している場合の下水道使用料はどうなっているのか。

(事務局)

井戸水の使用についても、井戸水を排水設備に流す場合は小金井市下水道条例に基づき、使用した量に応じた使用料を頂いている。ただし、畑に散水用として使用する場合は対象外である。

(浦谷委員)

この案件は行財政改革というものの一環として取り組んでいて、下水道事業だけでなく、他の部署もそれぞれの課題で一緒にやっているのか。

(事務局)

市の各課でも一定課題があるので、それぞれ何カ年か取り組んでいるところであり、下水道課の下水道使用料減免基準の見直しもその一つである。次回以降も引き続き議題として挙げさせていただきたい。

3 その他
特になし。

閉会

*各議題の会議録・資料については、図書館本館、議会図書館(小金井市役所本庁舎4階)、情報公開コーナー(小金井市役所第二庁舎6階)にて閲覧できます。